全で別に在る一萬軒の鎌道 の警護と、策で鴻螺經營の 一萬六千軒の乗合自動車と 松花江、黒龍江の汽船四千 六百軒の饗選とに當つて居

長官と重要會見を行ふことゝなつた、なほ野村、グルー會談はワシントンと低行して今後も観閉される筈で年内に第五大會見が命じハル國務長官と會見、今後の國交調整折觸につき協議を行はしめることになり、同大使は廿三日ワシントンにおいてハル國艦であり日米關係の將來に光明を齎すものであることが判明したので帝國政府としても更に具體的交渉を行ふため在米堀内大使艦であり日米關係の將來に光明を齎すものであることが判明したので帝國政府としても更に具體的交渉を行ふため在米堀内大使

場であります。十二年景本 タルー第四次會談終了後野村外相は官邸に谷子を招致し會談の結果に基き重要協議を選げたが、グルー大使によつてを招致し會談の結果に基き重要協議を選げたが、グルー大使によつて

山本通商、西歐亞、須磨情報各局部

も現地會談

【モスクッ廿二日強國通】東郷大使は廿二日午後 選げた、當日の會談は日ッ代表の最初の會談は の討議には入らなかつたが、年内に再度會見して の計議には入らなかつたが、年内に再度會見して

EI 45'17

設行所 金沙町無 特替那一 AAA

三一十一四門 東東京

別

に

H

新京飛行場に到着直ちにヤ部長その他の出迎を受けて カならずとも東に角外遊す はれてみた鮎川氏がアメリ にれてるた鮎川氏がアメリ にれてるた鮎川氏がアメリ に

鮎川總裁看京

れ」と水を向ける そつちがさら見 別に颯爽として 別に颯爽として

強せられた廣西將領の反共 抑制に**躍起** 孫科、反蔣空氣

移動することになった顕遠、司令部のみは、

戦線に 出動する コンニケ

ヤルー及

【東京國通】第七十五通常 三日午前九時五分開會、 時級平譲長より議長電任の 検抄あつて後部屬を決定了 なため一旦休憩、答部にお いて部長理事の選舉を行び 九時五十分再開、その結果 を書記官より報告、議長よ りこれにて本院は成立した を書記官より報告、

住文部省普通學務局長 高知縣知事 中野 ※

善敦

知一

講 市 座 民

鐵道警護隊の話

常 外國の間諜にしでも、汽車 だ たる人の中に、 何時かはそ だ まりませんから、 此の 離然 で 日本で もそれを押へる 傷 で 日本でもそれを押へる 傷 だ 業を見附けると、 た 、 うませた こともありましたが、 うま た こともありましたが、 うま た 変を見附けると云ふ事は 響 を挙げて居るのでありた それから職時、敵は監想工 にでありますが、大に を挙げて居るのでありた なない。 でありますが、大に した事は、関内に潜入 り関の誤者を愛見する 外関の誤者を愛見する

の破壊さるる急所など 従業員の部内事情や、 は

整接機としては恐らく一番 を支持機としては恐らく一番 を立ければ、到底目的を達 することは団來ません、様

一十二日來京ヤ

衣選特用春新 ルシンペプーヤシ入箱

日用月正





し出賣大末歳店全

八月頃全端で開催

ものと認定したるもの約二 百名は明春波繭直に各官総 に配属せしめることになつ てゐる

自動車運輸會社

あす日曜日も

郵政局の歳末風景

田渚は茎だしく激増し各局 開拓青少年義勇軍の現地事 を見られるが、新京郵政管 行の混雑振は相當なもの 情を報告のため特職され先 で、此處にも歳末の一風景 粉來内地名方面でその貴き を見られるが、新京郵政管 行の農康を促してゐた同義勇 在場、関東市内の各郵政局並 廿二日刺宇治山田荒、伊勢 に延吉 龍井、白城子の各 神宮に参拜、歸任奉告蓋に 野政局で平常の通り為替、 中陸使命の結截を祈願し午 青 一個金具の他の現金受拂事務 後二時爰宮宇治山田解發電 を午後三時迄取抜はせ公衆 車で纒原神宮に何つた サービスの一助とすること 大連市投資 別光

ポスター、募集 製記二千六百年を期し離進 型記二千六百年を期し離進

完貳○○貳四號至波第貳○○八日拾株券五枚〉

一子信夫儀豫而病氣中の處養 生不相叶廿三日午前五時三十 追而非儀は廿四日午後三時途中行列を優 追而非儀は廿四日午後三時途中行列を優 し曜町大正寺に於て相鶯可申候

訪伊やまと號

吉林も天候異様 指本地方はこの頃三家四温 を超越した暖かさが練き折 の優劣に要される景の混雑 とし、およりな気候異様を なに入った。 は住し、 といったの頃三家四温 とな市は大混觚を極めた

新京特別市 各日本調通賞五吉側也 各第章回金臺百城拾五圓第貳回 金臺百成拾五圓 新洲與菜級行總藏富田勇太郎 李蘭田

郎院

食道樂

十圓十五圓 重話@一二六二

沖繩縣經濟部長を命ず ・ 機通】農林省では来激政策 を擴充して三課を設けるこ かになりこれに伴ぶ人事展 動とになりこれに伴ぶ人事展 を擴充して三課を設けるこ を強充して三課を設けるこ を強充して三課を設けるこ

一、年齢 三十歳前後の軍隊既教内地人守衛募集

周東 秀雄

滿 洲 與 業 銀 行

多忙に付き 增員募集 當店獨 ス には 内地旅行者は御注意

阻につき各委員より報告あ 委員會を開催し左の研究議 委員會を開催し左の研究議 日年前六時四十五分官民多 敷の見達りを受け羽田飛行 場を出後、第一コース臺北 東京國通】イタリー訪問 製業飛行のやまと號は石川 製業飛行のやまと號は石川 農政研究會人合 **乾温**戸機店 中島カミラ売農

を左の要領で募集する ・ 本の要領で募集する ・ 一等一人三国。 ・ 一等型。 一等。 一等工。 一等工。 一等工。 一等工。 一等工。 一等工。 一等工。 一等工。 一等工

厚生省住宅課

購買者は注意する事

学生省社會局生宅課長を命 ▲七・三〇(東京) 國民歌 高「國民奉祝歌紀元二千六 高年二代と家庭の夕▲七・ 国〇(大阪)助讀(綴方現 地報告」齋藤譲一(外)▲九・ 一〇(東京)歌譜物語「農 ®字晚6放送

謝豪の戦野に

沖繩縣經濟部長

(重人を要す) 携帯原務

三井物產人事

東山の商品券

湯タンポト寝爐

御注文は壮七日追

賣場一階南人口電話②元二の三番

參圓以上御調

滿鮮十五ケ所本支店共通

初の國都公演

けふから二

碱業劇團

本る寂しさにはまた此の寒む空に醉狂なとを言ひ出して、とたんに楽しいた。いれた。 に群ひのさめかけた客がいた。いれた。 に群ひのさめかけた客がいた。

讀者優待割引券 銀座キネマ 「父は九段の櫻花二文稿茶签」
十日より開館三周年記念興行

「父は九段の櫻花与文職茶签」 州日より開館三周年記念選行 讀者優待割引券

高大會 12,20 4,10 22日より25日迄開放50セン 大週1六日より 聴きに踊る

(日曜日)

豆楽測場

長春

腿

親爺三面麥

茶 签

二十日より廿五日まで 八十銭均一 大週廿六日封切 江戸育ち八洲天狗 その 小 船 槍 供 養

ス 1,00 4.05・7,10 交 1,15 4,20 7,25 愁 11,30 3,35 5,40 8,45 11,30 3,35 5,40 8,45

衛映技術研究所の 満映システ

12,57 3,59 1,19 4,21

1,59 5,01

を

加藤葬儀社



第 12,00 3,20 6,50 第 12,29 4,00 7,51 海 援 縣 1,24 4,55 10,17 23日より27日迄・80銭均一・日曜一時限映 ス寫情際



那一俊木々佐

ニュース 1,15 4,18 7,20 最後の戦闘機 1,45 4,48 7,50 験長プーリバ 12,00 3,03 6,06 9,03 10,15

23日より「4日まで 50セン均一 週廿五日より 大河内のでかんしよ侍

松大阪商船凹机 朝田

繪錦の戀の演競子蘭井花・郞太彌川黑・鈴十五田山・夫一川谷長 三原 光子主 水戶光子主 縣 一条 光子主



宇治茶と世帶道具の店 河 電(川)

じ出賣大末歳 界店へ是非御用命下さい防寒具の御用意は確に安い 走非一度御立寄り下さい お子様用 月 用

赤札村大特價提供

日まで!

『演棋屋敷へ戻り申す』

槍の石突をとんと地に突き

近

商况

★大阪棉花 東京人絹

品市况

后義 田依 林 茂 藤 木 山 脚 太清田吉 歩

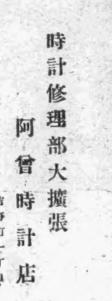
でして、心で、 がれずに彦根屋敷の方へ 態と、柱は、石橋下を右

一人が云つたので、

はこの邊際固の爲の出動して新選組が向つた、吾々







明力のいのよう



一白の人 日上の者の感情を損ひ易き日控へ目が情を損ひ易き日控へ目が高い悪の人 姑息手段を探らず飽くまで働きに依るでした。 敬と襲と東が吉の人、思ひに飛ればるとない。

各地株式市况 ▲東京株式(短期)











る猫他兵隊(翩翩

ントン廿二日酸國 学院が大艦、互砲 が発表員會では六 動し総欄数六萬町の巨艦 が料委員會では海 が料委員會では海 は一端であることがご

ナマ運河の開門で は幅負許十呎に渦 戦艦の機能を狙す

「重要物資統制法案」

受物資統制法と、「事を負するの

を立案、部内に於ける要綱案を決定し企畫處に廻付審議に入つた、兩統制要綱に於ける骨子は左の如くである。全工を立案既に要綱を決定法案の審議に入り、經濟部また消費部面よりする生活必需に向って一段の飛躍を必要に立て、兩法案に對して産經兩部緊密なる協力の下に創設されるもので、總動員體制强化の一具現でありると共に國民經濟の運營を一層圓滑化せんとの意圖の下に創設されるもので、總動員體制强化の一具現でありると共に國民經濟の運營を一層圓滑化せんとの意圖の下に創設されるもので、總動員體制强化の一具現でありると共に國民經濟の運營を一層圓滑化せんとの意圖の下に創設されるもので、總動員體制强化の一具現でありると共に國民經濟の運營を一層圓滑化せんとの意圖の下に創設されるもので、總動員體制强化の一具現でありると共に國民經濟の運營を生産資材と消費資材との二本建に分ち、兩部門に含まる、物資に對し横の連察をも圖りと、第を協立すべく生産資材については物資統制法、消費資材に對しては物價統制法を立案し、既往の縱の連絡を立案、信義等した、既往の縱の連絡を立案とは、企業を協立すべく生産資材については物資統制法、消費資材の兩部面。強力なる法的根據を附與し、戰時下における困難なる物資物價問題を解決すべく生産資材、消費資材の兩部面。強力なる法的根據を附與し、戰時下における困難なる物資物價問題を解決すべく生産資材、消費資材の兩部面。

る物資物價問題は恒久策確立に向つて一段の飛躍を。創設されるもので、總動員體制選化の一具現であり

は世三日選舉の結果と田子上は世三日選舉の結果と明では大木衆議院書記官長よりの通告に依り直ちに上表師様可を仰ぎ同日午後宮中において副議長離合傳達部首相より左記離令が傳達された。

■魔鉄特で給物くの業あとのてては 及金殊重の資も運開りも一る法託 び膨鏘要調全生營發ご見異る案に

對米國交調整に關するグル 日米航海道商條約廢棄後の

天皇陛下に拜講仰付られ、三日午後二時半宮中に参内三日午後二時半宮中に参内

の衆議院は午前十一時州五 分開會、劈頭小山議長起立 して本日をもつて第七十五 回帝國議會は召集された旨 を宜し、新議員西尾宋版、 加藤鐐五郎、吉川吉郎兵衛 本田英作、石坂豐一、村上 元吉、北浦圭太郎、吉田賢 一郎の八氏を紹介し次で金 一郎の八氏を紹介し次で金

句譜

野村外相參內

して爲される譯である

| 変土種々御下間に奉答してに對り國交調整問題等要は「一年天使との會談經過ない

結果田子一民氏(政友)が 決定、小山議長より直ちに 總理大臣を経て上奏御裁可 を仰ぐ旨を宜し午後等時三 十二分散會した

一、 おが精戦単部験は同地の 多数の電電品を興敢せり、 が再援助のため権給せし が再援のから、 が再援助のため権給せし が再援助のため権給せし が再援していては佛印 が再援しないては佛印

べ重を定には重産加るに整た民し重、原

物價統制

【東京國通】

衆議院訓議長

見らるべき 恒久 法案とも を進めるであり、 販賣の が地域を指定して を進めるであり、 販賣の が地域を指定して を連めのである、同な出來の が表さる公定價格制法と共に重要な は、本であり、 販賣の が表された必需品を をであり、 をさまして をないても かである。 に重要な なさき ものである。

發行所

编辑编辑

はと

髪のウ

「電髪」など さ」ざる以上のそのま、にしている。 機俗をとり入れ 地歩といふこと 地歩といふこと からたい▼早い である。 とり入れ

一娘かに改めなけ インプとかるま

に自己選籠中のもの でもそのまよ?とり でもそのまな?とり でもそのまな?とり でもそのまな?とり でもではないとい

生産、消費兩部面に

IP ME 金字 野田 61 65 TF 22 8 3 二一十一四月五



子氏決定子氏決定

【東京園通】

H

萬噸戰艦

もマース議員に呼吹なほプラムレー共の

行つた

米國海軍の擴充計畫

一日 強國ニー日 強國 に検討

右通達文において一八七 の意び詳布七立味に調告ニ

無能の通り は左の通り 全球、 は左の通り 全球、 は左の通り 全球、 は大の通り 全球、 では来の通り でもることを極力主張する、 を被対、 がは、 でもる。 でもる。 でもる。 でもる。 なは、 でもる。 をは、 の砂は、 をがかる。 なは、 の砂は、 をがかる。 なは、 の砂は、 をがかる。 なは、 の砂は、 をがかる。 なは、 の砂は、 をがいてものである。 ないでもる。 ないでものである。 なは、 でものである。 ないでものである。 ないでものである。 ないでものである。 ないである。 ないである。

長官と會見

ボテル 機害氏(農事合作社) では、管吏)同 では、管吏)同 製太郎氏(機械商)

本阿彌松友氏(合社員) 大都ホテル (東京製鋼) 同人を東京維氏(南) 同人を東京維氏(南) 同人を表表して、東京製鋼) 野内龜藏氏(南東) 櫻赤 野内龜藏氏(滿洲醋酸)同

【包頭十三日登園通】 包頭 ○○部版二十三日午後一時 ・ で 本 を の 後 の を で で し かず と な し 十 三日 子 後 一 時 ・ で は と 切 が 、 こ れ を 切 が ん た め に は た か 、 こ れ を 切 が ん た め に は た か で と な し 十 二 月 十 五 日 計約五千をもつて包頭が縁第六歳長王子修、新編第六歳長王子修、新編第六歳長王子修、

態度に

十を殲滅

経験を展開して敵主力を 強減戦を展開して敵主力を および四方地區において大 である。 「東京國通」楽議院無所屬 南氏は十三日第一議員供樂 部に入會した 完腐なきまでに殲滅せり 包頭北方地區より大々的攻二十一日より主力をもつて 位々木罐太氏(會社員) 阿中疆一氏(商業)同 阿中疆一氏(商業)同 后一氏(鑛山菜)大 但へ入會 三氏 (横被商) 同三氏 (横被商) 同三氏 (横被商) 同三氏 (横被商) 同三氏 (新京警務大三方) 田川兩氏

攻勢の敵二ケ師を痛撃

早朝監要を

南支各地を猛爆

多手攻勢の敵は十二日夜来であるが、十三日午前十時であるが、十三日午前十時であるが、十三日午前十時である。 「一五百餘、鹵獲小統二古、 「一五百餘、。」 る軍の損

敵の對容秘火を買

尾崎、

仮将路を

覆滅す 溫

(廣西省)を急襲し挑戦し 通信社維林楽電によればわ 通信社権林東電によればわ【香港廿三日發の通】中央

また別電によればの一般は廿二日間の一般は廿二日間の一般は十二日間の一般は十二日間の一般は十二日間の一般によれば、

▲古川仁右衛門氏へ吉川組 一郎氏(三非物産)

・ 十三日來京三國ホテル ▲林源一氏(東海無機電器 社長)同 社長)同

人事往來

もし現

べ 如 如 か に か に か

して中日合作す

され即ち民権主義であります。第三は健全なる經濟を 以て民力を競展せしめ國力 を充實せしめ、以て歐米の が最民主義的經濟侵略に抵抗

十二月廿二日近衞首相の際して止まるところがなかつ

根本精神であります

前の中日和

でありますが、合せていへ

個の原則が提出され

資行については如何は理論上の話でありますは理論上の話であります

ものであります。中國側に 於ては今後の經濟建設は民 於では今後の經濟建設は民

いふこと

瞬友好は正に大亚細亜主義 ります。其の第一原則の善 ります。其の第一原則の善 ります。其の第一原則の善

ルの策動陰謀を防止し共産 いが第三インターナショナ いが第三インターナショナ

国中日關係は悪化し、外交 野鮑し、私個人の知きもた だ枝葉末節の點で僅かに努 かし得なるに過ぎず、大局 東型のため一新局面を創生 し、平等合作の精神に素等 し、平等合作の精神に素等 し、平等合作の精神に素等

により中國の民族資 あります。中日關係 へば經濟提携は日本

國防皇軍慰恤

献金品「秋湖」

七銭(關東軍司令部)

知らねばなりませぬ。而も なければ一日だけ中國が日本と協力して歐米資本と對 本と協力して歐米資本と對 本と協力して歐米資本と對

を擧げたに過ぎませた。

一金六萬〇二十七個 一金二十四圓三十五錢單用家會屬門 金三十四圓三十五錢單用家會屬門 一金五千八百十三圓六十八錢(駐鴻陸 一金五千八百十三圓六十八錢(駐鴻陸 (昭和十四年十二月二十二月和

十九圆三十錢

畜慰問金(同)

本多議所副議長、各参議を 長官、交通部大臣を除く各 長官、交通部大臣を除く各 長官、交通部大臣を除く各

冬季攻勢デ

必要としてゐるものであらめ不分明とか重複とかいふかにこれを是正することを急にこれを是正することを

て熈宮内府大臣、鹿見島宮二十三日正午より約一時間上十三日正午より約一時間皇帝陛下におかせられては皇帝陛下におかせられては

で敢行しつゝあるわが海軍 好天を利し連日奥地の空襲 のとなる。

魯東匪團掃蕩

場東方約十キロに進駐せる 藤順約四百を急襲、わが方 の譲勢なるを保りたる敵匪 に近寄せ一齊に猛烈なる機 に近寄せ一齊に猛烈なる機 に近寄せ一齊に猛烈なる機 に近寄せ一齊に猛烈なる機 が敵腫も算を観して潰走、

ム言體日は五敵旬撃上がの機能を ・ 造りをし○機能を ・ 造りを ・ 変変を ・ のが ・ である。 ・ でる。 ・

午餐を賜はる

(日 曜 日)

二民主義の理論

國家となることであります 治を改造し、一個の現代的治を改造し、一個の現代的

中國の

中日兩國の努力に依め

ます。日本側においても或 ませんが之は間違ひであり ませんが之は間違ひであり

日本に不利であらうと答

が歐米資本勢力をありませ

成る

州民助成の合理化、移住轉屬係各機關の調整充實、開關係各機關の調整充實、開

雑詰及び瓶詰食料品、調味 外にある品目中加工海蓬物 あるが、更に目下價格統制

しいものに命中彈を浴せて が猛攻に一蹴されてゐるが 社を通じ宣傳戦術を用ひ始る敵集園を潰滅し火薬庫ら 所謂多季攻勢も至る所でわ マ記事を担造して外國通信・ 上陸電部陰に協力して六回 「南京廿二日愛園通」 蔣の 最近これにこりず得意のデル魔に潜入した敵に對

宣傳職術を用ひ始 してゐたが最近に至つて」担造して外國通信 かる幼稚な工作は一笑に担当して外國通信 かる幼稚な工作は一笑に

武鳴(南寧西北市を収めた

開拓民の数的増加、各種

大製品、鶏卵、麻袋、豚 時、 製品、鶏卵、麻袋、豚 時、 大豆、麥酒等で かるが、更に目下質者、 水をにある品目で、

しめるのみである。なほ一部に認識

價格對策に並行し

配給機構の整備完

戰時低物價政策軌道に乘る

と言い得 を競表 いらは一層積極的に に至ったが、更に で、一層積極的に るつしにつかってある ・ 政府の消費物資適正價格確 立方策は

時局の 選展に即
ある、即ら既に價格公公定及び配
ある、即ら既に價格公公定及び配
ある、即ら既に價格公定を高いつ
いかたものに砂糖以下の食料
の本たものに砂糖以下の食料
の本たものに砂糖以下の食料 ※展に 進展に 配現即

を斯く張調してゐる。 これである。これはかなものとなつたことがなるのとなったことがなる。これはかなれてゐる。これはかなれてゐる。これはかないではられてゐる。

と 一 大本二十分に亘り所管事項 大本二十分に亘り所管事項 大本二十分に亘り所管事項

海鷲、衡陽を猛爆

放属するのでー々」 し南寧も近く奪回、 ル南寧も近く奪回、

陸軍に協力、敵を潰滅

一選行に强力なる法的

價格の公定、賣買

濟部大臣は地方官

需給を

下ならしめると共 物品の價格を統制 で して公布施行され

制定は

濟の健全なる運行が期待

至大なる

日率新東南地區におい

0 惨敗隱蔽放送も 書發見で暴露 攻勢作戰命令

的物價現象の全面 又は禁止、 として極めて注目さ 制法の制定により で 励行を期せし は 配重なる 制則を ものであり関家

次平静化しつ わが軍の得

やるかといふことはこのことが明らかとなれば直ちにとが明らかとなれば直ちに分るのであります。即ち民生主義に基いて實業計畫を生主義に基いて實業計畫をせしめ、一面質轉費本の職せしめ、一面質轉費本の職

正。参

石川やまで機長

壯擧完成所る満航

でてひうで 故明出るは

至り國都全職菜團體に納稅 で 日由職業、 第 目の こうとた

震請となり明創市行政

夫自發的に納税運動を起し

光づ市

の回

一題(鱼四月)

冬賃統制法に望む Case 居住者が轉々して家主自 使用さへ出来ぬ家主の弱 使用さへ出来ぬ家主の弱 での期間を定めて戦き縮 での場間を定めて戦き縮 での域間を定めて戦き縮 でありて東西に及びまりに数 をなるのは強制がもて戦 長稿歌迎、但し中傷に

は 信手自身の自競的に出す家 で と云つた様な考へ方もして と云つた様な考へ方もして で 一言も云つて來ぬから新聞 に出てゐるので一同承認し たのだらう、との事であつ たと云ふ、何とか民の言葉 たと云ふ、何とか民の言葉

大豆とは異



反限り

賣

整へてゐる

は一體拂ひの現金牧買をする必要なく大豆粕の牧

たり懇望されて日空入りしたり懇望されて日空入りした日本航空界の第一人者である、この名パイロットを設った満航では今回の壯攀登礼員欣喜雀躍、激励電報を強責するやら航空神社に途

羅局設置は樞府との関係上 米穀局擴充

まをいている。
 は、 は、

質施する豫定の下に既に大大豆油事管を繰上げ年内に大豆油事管を繰上げ年内に る現狀に鑑み政府は來る一 學管の具體的原案を決

特産の全面統制進む

みに現はれ

興安大路六一

(臥龍

五百萬圓を著増し

え、さらに廿一日は官廳、 六億百萬圓と六億の線を超 に **船増を重ねた**、

兄粕は現金買 貨幣發行高 引續き増加

曾ての満航人

國商工業の魔進を如實に示さ開館してゐるといふわが。 き開館してゐるといふわが。 で唯一の日本館のみが引練 で明になるといふわが。 日本紹介論文

決死の都ヘルシン

照賞募集することになり二人に呼びかけて記念論文を人に呼びかけて記念論文を人に呼びかけて記念論文を人に呼びかけて記念論文を表したが関固有の文化を関係したが、関係文化振興 二千六百年を記念

各一名、住作二名、選外住 各一名、住作二名、選外住 作若十名を選出し優等者に は日本紹介金として日本ま での往復一等乗船券および での往復一等乗船券および

滿赤理事長更迭

電人で寛いだ越年 食館で寛いだ地年 を総介したね とく愛合された。 とく選介された。 とく愛合された。 合により際任することとなる。 養雄氏はこの度一身上の都佐順免官 満洲國赤十字社理事長工際

付付 前洲國赤十字社理事長被仰 下京社理事長被仰 工藤 義雄

部隊長畫伯 缸 藤少佐歸還

次に飛躍約と増加す |東京関連 | 泰國原日本館

大人氣で一ケ月の開館延期 | 會宛申込んで來た
が數回來館する等日本館は | を泰國から日本餐良物産協

外人より募集 服券および一ヶ月滞か 左の通り

書五在復

本語を使用する場合は 本語を使用する場合は 本語を使用する場合は 本語を使用する場合は 本語を使用する場合は 本語を使用する場合は を別加すべきこと、在 を別加すべきこと、在 を別加すべきこと、在 を別加すべきこと、在

最後的折頻に努めてをがあるので松原總裁は 一方大蔵省の一部では ては同

れば四月十九日協和臨時されば四月十九日協和會首都本部に轉ぎ 表昭送昭一 和世和萬

か鮮銀内部に

鮮銀總裁は大

鮮銀副總裁 銀理事有力

重二中內年



圓百貳に每圓五

うで倍舊の御引立 が出來ましたと

\$ こ御慶び申上げま 有難ふ存じました 御愛願を蒙り誠に て營業中は格別の 以前舊附屬地に於 就きましては私事 盆々御健勝の御事 此度當與安大路 酷寒の候皆様には 店舗を開店準備中 新に割烹と壽司 でしたが御蔭様で 御挨拶 く竣成開店致す

か因はしべめり

ス近し

於蘇西廣場俱樂部

12月27日午後七時二回

明明、としるの ・ でクイ書の作品 ・ でクイン ・ できる。 ・ できる。

會 社 トル氏」その他を配し多彩なプログラムを展開することになつてゐる「不思議なヴァションにコロムビヤバンドを配し、最近國都で上映し名畫の誇り高かつた「不思議なヴ劇そのま」の舞豪姿で「白廟の歌」をらたひ抜くこととなつで居り、その他滿映鶯陣のア

八童である

つた三日立

た一つの人形を取り出して 立つで側の風呂敷包を解き 立つで側の風呂敷包を解き

のかと今更感慨に堪へま

後へて學校の長き語り草に 像へて學校の長き語り草に ではいる。又唯今何ひました感激

心にも眸にもさく白蘭の花の遠い丘、知らずや君よ、朝に夕に語りつつ泪で眺め

でこめて花園に香りま高き 日を描きてねむる頃、希望 度赤な夕陽の落ちる頃、明

本なく 繰送い話の如くお聞き下さなく 繰送い話の如くお聞き下さなく 繰送い話の如くお聞き下さなく 繰送い話の如くお聞き下さな。 き人生の生き方の中にこそ 一本雲に時局を乗切る迫力が、私 本雲に時局を乗切る迫力が、私 ない 本雲に時局を乗切る迫力が、私 ない 本雲に時局を乗りる迫力が、私 ない かと思ひま

)まね、命捧げ

行たエー

でもろともにいまこそ咽巣中の日の光り、一枝籐風は晴れて青い空、明る

明摘る

念に學

りミテイープな規約立つた 見て、今日はこれを陸上の 見て、今日はこれを陸上のの陸 りまた、今日はこれを陸上のの陸

息出したことを諸兄と共に にれることが出来ない、わ の新京住民の綜合的なそれ である、今年で回を重ねる こと第八回の建園記念運動 音を六月十八日に兒玉公園

も迫

同時に客用の火鉢、屋浦圏

◇…室内の装飾は床の置

得意と

た茶の

競走は牡丹、白山 四月二日の前後二 日の光一年間のよ

母離陣に一段の強 の目覺しい進出 の目覺しい進出

新京陸上回顧

加へた、これに類し ラツンの試合は五月の 目競技會に行はれた方 で通じ大部に行はれた方 で通じ大部に行はれた方 で通じ大部に行ばれた。 を通じ大部に対すっシッ がではれた耐寒マラツ あつた、これらは出場。 で通じ大部に対すった。 な走法を形作つて行く な走法を形作の有達、関 でたる洪君(京高)を ではれた耐寒マラツ のとし、朴景錫君(市 三年智君(一高)等 一〇(新京)建

度乃至

、女子達の合體繪卷物に、舞踊に、五族の青體的な體操に、競技に

軍病院慰問の午後

たり得ない。 がら見 五九(東京)北米西部門海外放送=鉄流曲「東川海外放送=鉄流曲「東山彩子」東山彩子 (製画報)ニュース

(十二) 武大三鎮 と洞庭 (十二) 武大三鎮 と洞路 (十二) 武大三鎮 と洞路 (中の時間、對話 (中の時間、對話 (中の方面) 中の (大阪) 中

新を云つてある、供の奴は 実の際にフト領付いて見る 東の際にフト領付いて見る するは無田様か」と是も粗忽 で、、たかは、一日の御使 で、、からなり黒田邸へかけ こむと大陸で「娥砲洲浅野 を命じこれに跨つて出邊鐵を命じこれに跨つて出邊鐵を命じこれに跨つて出邊鐵を向ける。 内匠頭使者」と觸れ込む

田場義雄の傑作盤 泣 站



依り開催することとなつた。當日は今日本に於て人氣の絕頂にある李香鯛がいることが出來るやらにと市公署、滿映と協同主催で叢末籐蓋デーを左記にいることが出來るやらにと市公署、滿映と協同主催で叢末籐蓋デーを左記に はらと市公署、社會事業聯合會では例年の如く全市に同情炎を配布して呼び 歳の濶を控へて酷寒と飢餓線に彷徨する綱民に温かい同情の手を差しのべま

圓一券員會中三山寶 漆金



類別、可學、 本橋通り 地·洋服地·汽那服地 桁 迅速、低脈 六三 生

益順東鉛字局 東三の八書



は知つてゐる







中何 逾

iii

が 単極ケ被門ニニ

日(ダ

2 51

(3)

製店



會社組合設立手續 法律顧問 及鑑定 及鑑定 小 事務所

陸軍大

松法律事務所

慢性中毒症 農店に販賣す モルヒネ・門片





作はまだひどい雨だつた 一間もた」ぬ中「危いッ。 その蘇も耳に大らなかへ

本年に入つての構系の創るのである。

本年に入つての構系の創るのである。

一次のやうなものが存しなく
たり、わづかに率天の『新にかった。
あの『明明』の勝刊後、
されて来たことを知るので
たり、わづかに率天の『新にかった。
一で新京で『婆文志』第一幅
これは「漢文志」第一幅に指導を紹介した石軍
であった。これには満洲現在の最
これである。「新青年」のはかに
とが極かて注目されたので
も有力な人々が執筆したことが出来ると知るので
をが極かて注目されたので
また未だ日澤出来ずにあ
をで達してなった。これは「漢文志」は
「文達」といふのが刊行されたので
また未だ日澤出来ずにあ
を大人々が執筆してあるので
また未だ日澤出来ずにあ
ある。『新青年』のほかに
また未だ日澤出来ずにあ
ある。『新青年』のほかに
また未だ日澤出来ずにあ
ある。『新青年』のほかに
また未だ日澤出来ずにあ
ある。『新青年』のほかに
また未だ日澤出来ずにあ
ある。『新青年』のほかに
また未だ日澤出来ずにあ
ある。『新青年』のほかに
また赤で置の上から言つて
ある。『新青年』のほかに
また赤で書の上から言つて
ある。『新青年』のほかに
また未だ日澤出来ずにあ
の
な人々が執筆してあるので
また未だ日澤出来ずにあ
あった。 またまだ日澤出来ずにあ
を対の作品「補公支」を書い
れた。これにも全補の有力
これるのである。日系作家
な人々が執筆してゐるのである。日系作家
なた、明初なのよのである。日系作家
なた、明初なのよのである。
はだ
本等に入つての構系の創るのである。
「本学」は古丁氏の『原野』
る
はだ

滿洲文學本年の回顧

ら、少じなく

醫學博士市橋貞三

しながら来 でも一せいであった。 では、正夫ので でも、である。









Chi

全國各築店にあり△ 東京市帰田區豊高町角

藤井 得三郎 商店 張曹東京九二本

○/たんにて常にゴホンゴホンと鑑む人 ○/せき類に出で夜中オテオチ賦れね人 ○/を頻に出で夜中オテオチ賦れね人 ○/たん臭氣を帯び時が血の混る人 ○/たん臭氣を帯び時が血の混る人 ◎/老人又は病人の疲勞性より出るせき



には名楽龍角散の認識を前提と致します。 家庭薬です。銃後の覺悟は保健第一、それ そくの急性慢性に缺くべからざる臓民的の 無比で効果の速い龍角散はたんせき、ぜん の警報が出ました。 例年の如く純良









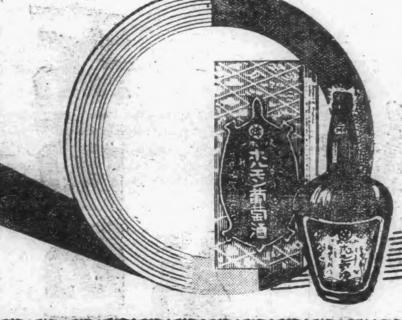
(日曜日)

業生堂HS線新京療院 一般慢性病專門 治療は責任あ根る





劑進增力性……に拶挨御の素年 ! 本一の此もにふ貰もにる贈



社會名合造酒洲滿京新元賣發





CLI

官部警察廳保安科では二十 三日午前十時會議室へ各署 主任會議を開催、保安警察 主任會議を開催、保安警察 主任會議を開催、保安警察

保安主任會議

東二條通 得て午後零時三十分散會しけること た、その席上師定から新春では二十 口等不備な態を完全なるも では二十 口等不備な態を完全なるも 変換 を まと ところ数 三時五十八分臺北東行場に ところ数 三時五十八分臺北東行場に 大災 に際して消火諸設備、非常 に 大き で まと 変 は 北 三 日午後 ところ数 三時五十八分臺北 飛行場に

題合で受付けること

(日 曜 日)

街の探偵慰勢會 首都警察廠內防犯協會で 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出 第一氏、谷口司批科長はじめ各關係官六十餘名が出

小學校教師の大量養成

一十人獲得目標に

助金制度新設

部の教學元實第

御誕

宮内官に拜謁仰付られ恐忱 と、蓮沼特従武官長等側近長、蓮沼特従武官長等側近長、蓮沼特従武官長等側近

新校舎の落成を急ぐ

小遺を献

さい」と献金手織きを願ひ出た

は

積優秀なる警察官を表彰す 自和警察廳では管下警察官 中品性高潔にして精勵格動 新京醫大卒業式

び金一封を贈るが、名譽の総監よりそれよう表彰状及総監よりそれよう表彰状及 京が贈られ正午閉式した 三日七十四名の人學者を決して本業生に對して本業報書、除者中から希望者に對して来 系本業生に對して本業報書、除者中から希望者に對して 本を授興し、また卒業成績一、要員を募集去る十日締切つ 本の張鴻疆者には民生部日、たが、趣寒者は非常な多數 に上り中には血書で志願し に上り中には血書で志願し た者もあり結局骸選の上出 で表現して本業報書、除者中から希望者に對して を授興し、また卒業成績一、要員を募集去る十日締切つ に上り中には血書で志願し た者もあり結局骸選の上出

- 新京代表決定

車官學校

一本から入

明年度

七十四名決定

西制復活

製化に付き

增員募集

高師を卒業後、日清紡ガ婦は昭和十三年東京

動務してゐた

見られてゐる を極単被或は陸軍大學 である。 の各種學校或は陸軍大學

優秀警官表

伊勢神宮等に参拜直ちに渡と口頭試問の後、明治神宮と口頭試問の後、明治神宮と口頭試問の後、明治神宮と口頭試問の後、明治神宮という。 新京陸軍軍官學校に

李交通部大臣 西制復活要望の躍が起つ

事務

同大衛(海上ビルニ書 昭者は履歴書持参の上本人來談有りたし 昭者は履歴書持参の上本人來談有りたし 昭春は履歴書持参の上本人來談有りたし 野歴 甲種商業卒業以上

三十二、三才迄の

人記者を

新京の土地に明るき方部に4個地上下さい

月刊滿洲

(3) 三(40)

新京出張 所

濟整備委員會 おいて第四次の幹事並に常済整備委員會では來る 用要物資配給統制案の

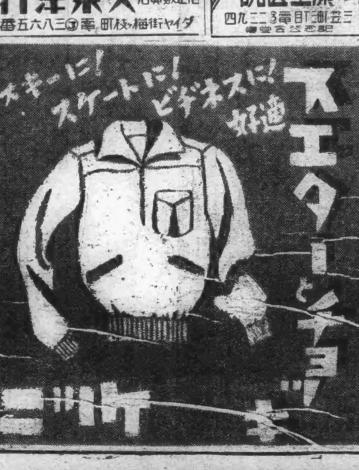
移轉遊露

に上京一月中旬歸京の発 派遣慰問演養團編成の 主京競のぞみで明年度關東 京競のぞみで明年度關東 で明年度関東 は世四日



項の詳細を検討審議





億圓に ゴ ル

五馬路花街新京料理店組合では二十五日午後一時から 四道街響察署講堂で従業者 の表彰式を舉行續いて修養

城內花街表彰式

间

物額五百七萬七千 いまつて一事に にゴールインした たもので

三日午後五時からヤマトホテルに於は吉賢副總裁以下本社並に各子會社總裁並に岸本秘書の出援を二十六日紀式の出版を二十六日に入り、

で一億圓を突破する

選するまでに 選するまでに

一八流 正首腦部北行

第●一億個を突破するに至 のに對し僅か創業六年で待 のに對し僅か創業六年で待

ガの文化を研究するため一 九二二年創立した哈爾濱地 物館はその後幾多の變遷を 物館はその後幾多の變遷を 物館はその後幾多の

行 院分院の看板と内容が丸つ 第中であつたが、この程科 きり違つてゐるといふ奇現 學院首脳部においてほゞ意東 樂を持ち織けるのみなので 見の一致をみたのでこれが 博 機能と傳統をもつ博物館と 總務科長、板野新夫博士が を しての機能を科學者らしい 廿四日午後五時三十分新京 に 組立てで有機的に構成し本 愛のあじあで哈爾濱に向ひ に にしようと大陸科學院に於 種更生来につき懇談すること これが改組につき種々考 とゝなつた と

大陸科學院哈爾 當の、 である。

無盡藏の酸性白土層

九臺附近に發見

及び一般經濟狀態の相望は さることながら真に驚異的 な渡展と云はねばならない 即ち二十一日現在の預入 人員は百十九萬人、預金 總額は一億五十三萬六千 所長加藤完治氏の長女治代一つ は那須健博士夫妻の媒妁で滿洲開拓の父内原訓練好で満洲開拓の父内原訓練 國避」 滿洲國協和會熱河 大陸新夫婦(東京

> や、言ふこと よ、馬鹿

1

付

\$

喜屋

=

すぐ

分新若

御正月用吳服

價

賣

出

突破さ は一 一億を

せたい

ハ年を語る 健闘六年の儒金生活を 大原副局長

氣き天け の ふ 流の

電話代表番號③四 会験に付御諒承相成度此段年始の休業を廃止し平素通 一賣一組 五合

話③三二

七

と無温 最高零下四度五最高零下四度五

御 多少に拘ら 松 松竹梅生花組物 ず配達致します 裁 植 大賣 武圓五拾錢より 四 圓より

京

海山前

の紅灸



言葉は、急に

だ!」 んとにあんたの 言 ふ 通り



学保温衣の出現で

なら何をおいても私力の家法専門 頭間症でも試よ今すぐハガキ出せ でも試よ今すぐハガキ出せ をる とる われこや

カフ

ナー

ドラミ

集





銀名

が、一代書を

集 募 給 3

銀ダンド

L

L





質験者は語る

命の母」が生んだ意外な事實





ツクに依る



細細 細頭

電準

亚亚

香

T 話 岩見電話店

※柴町三ノーノ四

(八島小學校前)

電話3・3137番 联 版 32

雅富

3世

大 新 京 京 京 大新 大新 景京 青京 る京 融金及話電信 衛秘期長・時即融金 るあ、用信 木 景は 護相 副の 武士 入 店話電本荻(程元月間)

募

給

洋

女

東 1





花花花花

園園園園

會會會會

館館館館

ニニニミ(3)個





除士マ

通町



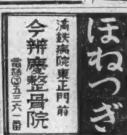


細 細

亞型

(3)











行 美 学 所・午後・ 皮間 ・ 中 後・ 皮間 タイピスト歳



三友社

追随

讲







番八四一六(3)話體







特效樂 市光堂療院 一古光堂寮院 安 灸 神皮心心經濟散

密国の効力が

偶然が住き人類に福利を齎すことがある。偶々コルストン博士によつてNH2803 (デーユーサイドの有效因子) が淋疾に適用されたのも正に其の一例であつた。 それは後来の治淋療法に一大革命を超してサルバルサン以後の最大發見と云はれ デーコーサイドはありぶれた 程間の 殺菌利尿剤とは根本的に 異り内臓すれば酸液と共に直もに深部病 へ 浸透して 弱自の 殺 菌、落菌、陰菌の化學的作用を發揮する。故に男女の急慢性淋 疾を開け、元早いのは陸か二三日間の内服で止膿、止痛、淋系消滅と云、、発見的効果を奏する。これは今日までの数知れぬ實験 に依つて賞證されてゐる。

特性チーユーサイド創製にも成功

ーユーサイドでは效果不確實な特異體質者の爲に特に したもので本潮は斯様な患者に特效がある。 (各地有名藥房販賣)



